

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 11 月 1 日

事業所名 コベルプラス本八幡教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			・適切な定員で、訓練スペースを確保し療育にあたっております。
	②	職員の配置数は適切である	4	1		・国が定めた基準を満たし、基準の人員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			・柱の角や窓ガラス付近には、緩衝材やマットを設置しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・日々の清掃を実施するとともにレッスン後は毎回消毒を行っています。	・感染症対策を徹底するとともに、療育活動に合わせた環境整備を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・職員間で話し合いの場を設けています。	・自治体主催の PDCA 研修を受け、業務改善を実施しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・いただいたご意見を職員間で共有し業務改善しています。	・評価表の集計結果を従事者全員に周知し、話し合いの場を設けています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・教室の HP に年度ごとの評価を掲載しています。	・集計結果におきましては、県庁への届出、HP での公開を行っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		・第三者評価実施は行っておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・職員のスキルアップや専門性の向上を目指し、定期的な研修や勉強	・個人や数名で参加した研修については、職員間で情報共有する場を設けています。

				会の場を設けています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	・保護者様に聞き取りを行い、個々のニーズに応じた支援計画書の作成を行っています。	・課題を提示しどう改善していくのかの会議を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・コペルメソッドに沿ったツールを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・児童発達支援ガイドラインに則り、お子様の状況や発達に合わせた具体的な支援内容を設定しています。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	・支援計画に沿った療育が行われるよう職員間での情報共有やカンファレンスの場を設け話し合っています。	・児童発達支援計画から逸れてしまう事のないよう、管理体制を整えています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・月末に行われるコミュニケーショントレーニングの制作物や内容をチームで立案・実行しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・お子様のご成長はととも早く、プログラムの変更や追加はなくてはならないものです。今後も、発達段階を把握しながら、柔軟な支援変更、追加を行ってまいります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		・お子様の状況に応じて、児童発達支援計画の見直しを行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	・朝会や時間の空きを見て、行っています。欠席者にも	・記録の確認を誰が見てもわかるように、チェックしております。

				分かる様、記録も残しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	・指導員共有ファイルにて、変更点等を記入し、その間で共有しています。	・改善が必要な場合には、話し合い職員全員が周知できるように記録をしています。また、お子様が達成できている取り組みの報告や、保護者様とのフィードバックでの内容を踏まえ、次回以降の療育に繋がられるよう情報共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・その都度報告をしあい、改善につなげております。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・モニタリングをする前には、記録を参照し、職員からの聞き取りをして見直しをしております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・コロナの影響で、集まったの会議は行われていませんが、電話や書面にて相談支援事業所と連携を図っております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・引き続き、関係機関と連携した支援を行ってまいります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	・現在ありません。 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	・現在ありません。 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・ご希望に応じて連携をとらせていただいております。 ・在籍園との連携をご希望の方は、詳しく内容をご説明いたしますのでお声がけください。

連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			・就学先の小学校との連携をご希望の方は、詳しく内容をご説明いたしますのでお声がけください。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			・よりよい情報をご利用者様にお伝えすることができるよう、連携を継続してまいります。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		

	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		・子育て会議や連絡会へ参加しています。	・積極的にオンライン等協議会へ参加をし、多くの情報を収集しています。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・園やご家庭での様子を教えていただく時間も大切にしています。	・積極的にお子様の状況を伝え合う機会を持つよう努めてまいりたいと思います。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5			・お子様の日頃の様子で、どのように対応しようか迷われましたら、いつでもお声がけください。一緒に考えていきましょう。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・お声がけをいただければ、いつでも説明させていただきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			・支援内容や計画書には、専門的な言葉が含まれる場合もございます。不明な点がございましたら、お気軽にお声がけください。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・ご希望に応じて相談支援も行い、適切な助言ができるよう努めています。	・療育中、お困り事がないかお子様の様子をお聞きする時間を設けるようにしております。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		・コロナ禍もあり保護者会を開催する予定はありません。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・少しでもお困りごと等ありましたら、いつでもお声がけください。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	・毎月お便りの発行をしております。	・LINE@では今後も大切な情報を発信させていただきますので、確認をお願いします。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	・鍵付き書棚に保管し、また、シュレッダー処理をし第三者への情報漏れが無い様に行っています。	・個人情報が含まれるものに関しましては、鍵付き書庫へ保管し、事務所の施錠も徹底しております。印刷ミスなどは、必ずシュレッダー処理しております。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・担任制ではないため、初めて担当する指導員でも緊張しないように、指導員の写真を教室に掲示しております。お時間のあるときはぜひ
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	・実地していない。	・今後も開催の予定はありません。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	・マニュアルの場所を全員が把握し、いつでも閲覧出来る様にしています。防災訓練にも取り組んでいます。	・書類関係等の保管場所の共有を徹底しております。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	・毎年、実地しています。〔利用者様にも参加して頂いています。〕	・非常災害時用に、救急セットや保存水の確保、マスクや手袋などを常備しております。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・てんかん等に関しましては、詳細や、医師からの対応方法などをご報告いただきます

					ようご協力をお願いいたします。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			・教材で粘土を使用する際には、細心の注意を払っておりますので、アレルギー等の申し出にご協力をお願いいたします。※小麦粉アレルギーなど。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・パソコンや共有ファイルから各自が見る事ができ、作成後は朝会等で報告し共有しています。	・毎月、全国のコペルプラス教室から本部に報告をあげるシステムになっており、集計した事例を従事者全員で把握できるよう努めております。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・発見した際の連絡先などは、常に指導員の目の届く所に掲載しています。	・年に1回、県開催の『虐待防止研修』へ参加しております。また、虐待チェックリストを作成し、気になった箇所が見受けられた場合は必ずチェックを入れ、管理者へ報告をしています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			・契約時と一年に一度、身体拘束について説明をし、了解を得ています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。